

一般財団法人地球システム総合研究所は昭和18年（1943年）2月18日に設立された京都大学関連の公益的財団法人である。

その定款で「地球の科学ならびに工学に係わる複合的な情報を取得・解析し、総合的に解釈する地球システム科学及びその関連技術に関する基礎的研究を行い、もって人類繁栄の基となる資源・エネルギー開発、建設、地下水利用、防災や環境保全等への活用を図るとともに、研究成果の普及と専門技術者の育成を通して、地球の安定的有効利用と社会の持続的発展に寄与すること」を目的と定める伝統を有する財団法人であり、長きにわたって活動を続けてきた。

当研究所は、定款に定める目的達成のために次に示す3つの事業を行っている。

(1) 地球システム科学・技術に関する基礎的・応用的研究

(2) 研究成果の実用化と啓蒙・普及

(3) 資源・エネルギー開発、建設、地下水利用、防災や環境保全等に関する研究・調査

これまでに上記の事業により多くの有益な成果を挙げ、我が国の科学技術の発展に寄与するとともに学術的にも多くの貢献を果し、今までに多くの有益な成果を上げてきた。

当研究所は、新型コロナの影響で、この3年間は様々な影響を受ける中で、対応可能な様式で上記の三つの事業を続けてきたが、新型コロナの影響が収束する状況を受けて令和5年度は、これまでの活動をさらに発展させるため、以下に示す事業計画のもとに活発な活動を行う。

1. 研究所の運営について

当研究所は一般財団法人としての運営を行うために定款で定められた2回の通常理事会と1回の定時評議員会の開催を予定している。

2. 「自主研究事業」及び「研究会・講習会等の開催事業」の実施

当研究所独自の課題について研究を行い、その成果を公表して科学技術の発展に寄与する自主研究事業に加え、研究成果の普及と有効利用を促進するために、研究会、講演会、セミナー等を開催する。

令和5年度は特別講演会を1回、講演会を3回、研究会を活発に開催する予定である。

また、新型コロナの影響で開催様式の変更を余儀なくされた国際会議を、従来の形での開催について積極的な支援を予定している。

3. 研究・調査及び技術指導の受託

学会や産業界からの要請に応じて、関連科学技術に関する多くの課題の研究及び技術開発ならびに学術調査及び研究技術指導を積極的に実施し、我が国の関連科学技術の発展に寄与する。そのため、様々な委託者からの研究課題の解決を図るための「研究等受託事業」にも積極的に取り組んでいく。

4. ホームページ (<https://www.geosystem-research.com/>) を充実させ、当研究所の活動状況及び成果を公表すると共に周知及び普及に務める。

以上